



KBF CHRISTMAS SERVICE

希望が来た

ルカの福音書 2:8-14

ロイド・フラハティ

ルカの福音書 2:8-14:

8 さて、その地方で、羊飼いたちが野宿をしながら、羊の群れの夜番をしていた。9 すると、主の使いが彼らのところに来て、主の栄光が周りを照らしたので、彼らは非常に恐れた。10 御使いは彼らに言った。「恐れることはありません。見なさい。私は、この民全体に与えられる、大きな喜びを告げ知らせます。11 今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。12 あなたがたは、布にくるまって飼葉桶に寝ているみどりごを見つけます。それが、あなたがたのためのしるしです。」13 すると突然、その御使いと一緒におびただしい数の天の軍勢が現れて、神を賛美した。14 「いと高き所で、栄光が神にあるように。地の上で、平和がみこころにかなう人々にあるように。」

神様は、救い主イエス様を通して暗闇の世界に光と希望をもたらしています。

1. イエス様は私たちに希望をもたらします。

光は、暗闇の中でこそ一番輝きます。

クリスマスはただの飾り付けをするイベントではありません。クリスマスは神様が私たちを愛しておられる証しなのです。

2. 錨のような希望

ヘブル人への手紙6:19

私たちが持っているこの希望は、安全で確かな、たましいの錨のようなものであり、また幕の内側にまで入って行くものです。

錨は、どんなに波が荒れていても船を安定させます。

3. 立つべき堅い土台

イエス様にある希望は堅い土台です。

イエス様は私たちのために生まれ、私たちの間で住まれ、私たちの罪のために死なれ、再びよみがえられ、今日私たちの内に住まわれています。

心に留めましょう:

光がきたこと。

希望が与えられたこと。

その名前がイエス様だということ。

